

第五回

祈り

響きの空間

天台聲明とチエンバロ

てんだいししょうみょう

聲明

三人の天台宗僧侶

チエンバロ

岡田龍之介

日時 2012年 6月24日(日) 午後3時30分より

会場 天台宗 平林山 千手院 客殿
(南佐久郡佐久穂町平林263)

主催 天台宗 平林山 千手院 方向舎
共催 佐久穂町商工会

(第五回)

Program

前半

- D.スカルラッティ:
ソナタ 口短調 K.87
- 三礼一三宝
(仏・仏の教え・教え学ぶ者)に帰依する曲)
如来唄
(如来(仏)をたたえる曲)
揚勸請
(仏道の修行を誓う曲)
- J.Ph.ラモー:
・ ロンドによるジーク
・ ミューズの会話
- J.K.F.フィツシャー:
組曲「オイテルペ」 変ホ長調
- F.クープラン:
・ プレリユード イ長調
・ 子守歌
- J.S.バッハ:
プレリユード 変ホ長調 BWV998
- W.バード:
パヴァーナ イ調
- G.ル・ルー:
アルマンド・グラウヴ

----- 休憩 -----

後半

- 散華(さんげ)
華とともに神仏をお招きする。
- 対揚(たいよう)
仏の徳を讃える曲
- 唱礼(しょうらい)
曼荼羅の中の諸仏の名を唱え礼拝する曲
- 九方便(くほうべん)
人々を真理に導くための教えを示した曲
- 般若心経
- 太鼓
- 諸天讃(しよてんざん)
諸天を讃える曲
- L.クープラン:
パヴァーナ 嬰へ短調

本日演奏する作品は皆、16世紀のルネサンス時代末から18世紀バロック時代までに作曲されたチェンバロのための作品です。シンプルな民謡のような曲から優美で装飾的な作品に至る様々なキャラクターの小品が登場します。チェンバロはピアノが登場する以前の花形鍵盤楽器ですが、その音色は銀の鈴の音にたとえられるほど繊細かつ密やかなものでした。人に聴かせるというよりは自分自身の愉しみ、心の慰めといった趣のこれらの作品には、チェンバロの透明な音同様、聴く人をほっとさせリラックスさせる性質が潜んでいるように、私には思えます。

チェンバロの音による静かな語りかけは、宗教的な祈りにも通ずる不思議な魅力と敬虔さを持っている、とも表現できるでしょうか？

本日はこれらの音楽を聲明ともどもお楽しみ頂ければ幸いです。

岡田龍之介

プロフィール

慶応義塾大学経済学部、東京藝術大学楽理科卒業。1986年同大学院修了。音楽学を角倉一朗、チェンバロを有田千代子、渡邊順生各氏に師事。またW.クイケン、J.V.イマゼール、T.ユープマン各氏にレッスンを受ける。全国各地の演奏会に出演し、国内外のバロック奏者との共演を通じてアンサンブル経験を深める一方、ソロ、教育活動にも力を注ぐ。

携帯電話などの電源はお切りください

ご案内 午後2時30分～と終演後に、高橋先生による境内の樹木・山野草の案内があります。ご参加ください。境内の樹木を材料とした樹木染めの標本展示と作品のチャリティ販売。境内の山野草、苗木のチャリティ販売。(チャリティ販売で集まった売上金は震災地に寄付いたします)観音堂内に歴史を刻む絵画、俳画の復興とレプリカ販売。コーヒーとクッキー販売があります。利益は東日本震災地の障害者施設に寄付します。